



## はじめに

石川, 慎一郎

---

**(Citation)**

統計数理研究所共同研究レポート, 444

**(Issue Date)**

2021-03-15

**(Resource Type)**

other

**(Version)**

Version of Record

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81012570>



## はじめに

本報告書は、2020 年度に実施された統計数理研究所共同利用研究「第二言語の言語知識と言語産出の関係性の解明：統計的アプローチによる検討 (Knowledge and Performance: A Quantitative Analysis of Learners' L2 Use)」(2020-統数研-一般研究 2-00007) (研究代表者：石川慎一郎) の成果をまとめたものである。本報告書は、統計数理研究所共同研究レポート No. 444 として刊行された。

### 代表者・報告書編者

石川 慎一郎 神戸大学 教授

### 所内共同研究者

前田 忠彦 統計数理研究所 准教授

### 共同研究者 (上記 2 名を除く)

井上 聡 環太平洋大学 教授

今道 晴彦 広島大学 准教授

中尾 桂子 大妻女子大学短期大学部 准教授

李 楓 西安理工大学 准教授

森下 裕三 環太平洋大学 准教授

張 晶鑫 湖北大学 講師

中西 淳 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士後期課程

鄧 琪 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士後期課程

肖 錦蓮 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士後期課程

石田 麻衣子 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士前期課程

安 美彦 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士前期課程

佐々木 恭子 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士前期課程

堀家 利沙 神戸大学大学院国際文化学研究科 博士前期課程

### 発行所

統計数理研究所 (〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3 Tel 050-5533-8500)

### オンライン版発行日

2021 年 3 月 15 日

### オンライン版発行所

神戸大学大学教育推進機構石川慎一郎研究室 (〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲 1-2-1  
Tel 078-881-1212)

## 過去の研究課題・レポート番号

平成 17 (2005) 年度

言語コーパスからの共起語検出における統計指標の研究 (No. 190)

平成 18 (2006) 年度

日英語の基本語の抽出における統計 (No. 199)

平成 19 (2007) 年度

学習者コーパスの解析に基づく客観的作文評価指標の検討 (No. 215)

平成 20 (2008) 年度

コーパス言語研究における量的データ処理のための統計手法の概観 (No. 232)

平成 21 (2009) 年度

言語コーパス分析における数理データの統計的処理手法の検討 (No. 238)

平成 22 (2010) 年度

コーパスを用いた記述的言語研究と統計 (No. 256)

平成 23 (2011) 年度

統計手法を利用した言語データ分類 (No. 277)

平成 24 (2012) 年度

計量的言語データ処理法研究 (No. 290)

平成 25 (2013) 年度

言語変種調査における統計処理 (No. 308)

平成 26 (2014) 年度

コーパス頻度データの統計的加工 (No. 340)

平成 27 (2015) 年度

応用言語学研究における計量手法の検討 (No. 353)

平成 28 (2016) 年度

統計的アプローチで探る応用言語学と外国語教育のインタフェース (No. 373/374)

平成 29 (2017) 年度

コーパスから得られた頻度情報の計量処理に基づく多言語の特性解明 (No. 400)

平成 30 (2018) 年度

言語特性の量化によるテキストの探索的・検証的分析 (No. 414)

令和元 (2019) 年度

言語テキストの内的構造に対する数理的アプローチ (No. 435)

令和 2 (2020) 年度

第二言語の言語知識と言語産出の関係性の解明:統計的アプローチによる検討 (No. 444)

No. 444 目次

石川 慎一郎 「絵描写作文課題における L2 日本語学習者の動詞使用と習熟度の関係—I-JAS の SW1 課題データの計量的概観—」	…1-22
井上 聡 「アンケート調査に基づく授業設計の効果測定—量的分析と質的分析の応用—」	…23-34
中尾 桂子 「文体形成に音素が影響する可能性—3 種のテキストの音素に基づく判別分析から—」	…35-56
今道 晴彦 「現代ドイツ語の新聞記事に見る文の長さと言構造の関係—コーパスに基づく実態調査—」	…57-72
森下 裕三 「英語における経路動詞の使用と言用論的要因」	…73-86
張 晶鑫 「連体修飾マーカー「の」と「的 (de)」の中日比較—『中日対訳コーパス』を用いた計量調査—」	…87-102
肖 錦蓮 「現代日本語における高頻度ヘッジ語形の抽出と使用環境によるグルーピングの試み—ジャンル別のコーパス頻度調査に基づいて—」	…103-122
鄧 琪 「非和語系語彙の連体修飾用法に対する—考察—異なる連体修飾標識の許容度に注目した計量調査—」	…123-138
佐々木 恭子 「高校生の中作文に見る because 使用—頻度・文中位置の視点から—」	…139-158
堀家 利沙 「日本人高校生と英語母語話者の統制中作文に見る go+X コロケーション—対照中間言語分析の観点から—」	…159-174
安 美彦 「日本語学習者の書き言葉における条件節の使用の実態調査—「JCK 作文コーパス」を用いて—」	…175-190